

高木仁三郎市民科学基金
「市民科学」公開フォーラム

リニア新幹線・ 外環道大深度地下 トンネル問題を 深掘りする

2022年10月16日(日)

12:30～16:30

明治大学和泉キャンパス

メディア棟 M301 教室 + Zoom

第1部：問題提起

「リニア中央新幹線に対する地震学からの警告」

石橋克彦さん（神戸大学名誉教授、地震学）

「外環道地下トンネル工事で何が起きているのか」

上田昌文さん（市民科学研究室／外環振動・

低周波音問題調査会）

第2部：ディスカッション

パネリスト 石橋克彦さん／上田昌文さん

／榎田秀樹さん（ジャーナリスト）

司会 菅波 完（高木仁三郎市民科学基金）

このフォーラムの参加費は無料ですが、よろしければ、高木基金の活動へのご寄付をお願いいたします。ただいまクラウドファンディングに取り組んでいるところです。どうぞよろしくお願いいたします。



主催

高木仁三郎市民科学基金

info@takagifund.org

〒160-0003

東京都新宿区四谷本塩町

4-15 新井ビル3階

TEL 03-3358-7064

資料目次

- p. 3-8 石橋克彦さん発表資料
p. 9-17 上田昌文さん発表資料
p. 18-22 檜田秀樹さん発表資料
p. 23-26 参考：高木仁三郎「核施設と非常事態——地震対策の検証を中心に——」
(1995、日本物理学会誌 Vol. 50, No. 10)

このフォーラムのねらい

高木仁三郎市民科学基金は、高木仁三郎（1938-2000）の遺志に基づいて設立され、一般市民から寄せられた会費や寄付を財源として、仁三郎が目指した「市民科学」の考え方に基づいて、現代の科学技術や社会政策の負の側面に焦点をあてた調査研究を助成してきました。設立からの21年間の助成実績は、国内およびアジアの個人・グループに対して、合計440件、総額2億3300万円となりました。

公募助成のプロセスでは、公開プレゼンテーションや成果発表会などを行い、助成研究の成果を広く一般にも共有し、「市民科学」の意義を深めることを目指してきました。その経験をベースに、助成案件の枠を超えて、社会的に重要な問題に関する調査研究・分析等の実践的な取り組みを取り上げ、「市民科学」の観点から議論を深める場を提供したいと考え、今回の公開フォーラムを企画しました。

この公開フォーラムは、前半の第1部で、石橋克彦さんから、様々な問題点が指摘されながら進められているリニア新幹線の問題について、特に将来想定される大地震との関係で問題提起をしていただきます。

これに深く関連する問題として、外環道大深度地下トンネルの工事により、実際に発生している被害とその調査の状況について、上田昌文さんに報告していただきます（この調査研究は高木基金の2021-2022年度の助成を受けて行われているものです）。

第2部のディスカッションでは、リニア新幹線問題について、長年にわたる取材に基づき、複数の書籍等を執筆しておられるジャーナリストの檜田秀樹さんにもご参加いただき、石橋克彦さん、上田昌文さんの問題提起に関する質疑応答とあわせて議論をすすめていきます。

本日の限られた時間で語り尽くせる問題ではありませんが、ご参加のみなさまからもご意見をいただくなかで有意義なフォーラムになることを期待しております。

高木仁三郎市民科学基金 事務局長 菅波 完

このフォーラムのすすめ方について

- ◆ このフォーラムは会場とオンライン（Zoom）の併用で行います。会場の様子はオンラインで配信されますが、客席は撮影せず、講演者・パネリストの様子のみが配信されます。
- ◆ このフォーラムで紹介される説明用の画像には、プライバシーに関わるものが含まれるため、説明の様子を会場で撮影したり、オンラインで視聴する方が画像や動画で保存したりすることは、固くお断りいたします。フォーラムの様子は、公開可能なかたちで一部編集した上で、後日、高木基金のYouTubeで公開する予定です。
- ◆ 第1部の石橋克彦さん、上田昌文さんの発表についての質問は、会場参加の方は質問用紙にご記入の上、休憩時間までに事務局にお渡しください。オンライン参加の方はZoomのQ&Aに書き込んでください。第2部のディスカッションで司会から紹介させていただきます。（時間の関係ですべてのご質問にお答えできない場合もありますのでご容赦ください。）
- ◆ このフォーラムおよび高木基金へのご意見などは、アンケートにご記入いただければ幸いです。